

## 平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	設計製図1 (Atelier Practice of Design and Drawing 1)		授業コード	L030601
担当教員名	廣田 篤彦・安藤 剛・西村 謙司		科目ナンバリングコード	L20306
配当学年	2	開講期	前期	
必修・選択区分	建築コース(選択必修) インテリアデザインコース(選択必修) 環境・地域創生コース(選択)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	CAD、製図の授業を受講しておいてください。			
受講心得	毎回、提出物があります。提出期限は厳守してください。			
教科書	資料を配付します。			
参考文献及び指定図書	建築デザインの製図法から簡単な設計まで(彰国社) 武者英二 建築設計課題のプレゼンテーションテクニック(彰国社) 吉田研介著 建築設計資料(建築資料研究社) 建築思潮研究所編			
関連科目	造形、基礎製図、CAD製図、CAD1、CAD2、スペースデザイン、建築計画など			

授業の目的	建物の設計に必要な知識や感覚を身につける基礎的訓練を行います。前半は建築設計製図の基礎的学習と演習を行います。演習によって、建築製図の基礎を習得し、実際に設計を行っていくための技法を学びます。後半は、実際の建築物を課題とする建築設計課題に取り組む前に、設計を行うための発想法や、エスキースの仕方、空間構成の技法などを習得するための訓練を行います。演習によって、後期の設計演習を自主的に進めることができるようになることが課題です。
授業の概要	前半は、建築設計図面の表現方法とパース・エスキースの描き方について学習します。後半は、5×5mの立方体に「マイ・スペース」を設計します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> 建築設計演習の学習過程について説明します。また、建築の魅力を説明します。	資料参照 課題制作
<b>第2週：建築図面演習1 配置図</b> 鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここでは配置図について学びます。	資料参照 課題制作
<b>第3週：建築図面演習1 平面図</b> 鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここでは平面図について学びます。	資料参照 課題制作
<b>第4週：建築図面演習1 断面図</b> 鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここでは断面図について学びます。	資料参照 課題制作
<b>第5週：建築図面演習1 立面図</b> 鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここでは立面図について学びます。	資料参照 課題制作
<b>第6週：建築図面演習1 スケッチ、パース</b> 鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここではスケッチやパースについて学びます。	資料参照 課題制作
<b>第7週：建築図面演習1 図面の仕上げとエスキースの実践</b>	

鉄筋コンクリート造の建築物の図面を書くための訓練を行います。ここでは図面の仕上げとプレゼンテーションを行います。		資料参照 課題制作
<b>第8週：エスキース実践講話</b> 建築空間の設計をするとき、いきなり平面図や立面図や断面図が出来上がってくるわけではありません。空間として必要なそれぞれのヴォリュームの配置や関係、それをつなぐ人の流れなどを図にしてみる必要があります。また、それぞれの空間から周囲がどのように見えるか、あるいは、それぞれの空間のかたちがどのように見えるか、透視図風にスケッチしてみる必要があります。これらの図や絵をエスキースといいます。このようなエスキースの描き方について実例をあげながら説明します。		講演 質疑応答
<b>第9週：身体寸法の測定と描写</b> 建築の空間とは人のいる空間です。人は身体という物理的な大きさを持ちます。まず、自分の身体を測定して、その基本的な大きさを確認します。そして、その同じ大きさをもった人が落ち着いて座れるイスまたはベンチを指定の場所にデザインし、エスキースで表現する練習をします。		資料参照 課題制作
<b>第10週：サザエさんの家～平成の磯野邸を考える～</b> プランニングの実践練習として、平成の磯野邸を考えます。アニメで設定されている「サザエさん」の家をケーススタディとして、当該住宅の空間的問題点を整理し、より快適な居住空間への改築案を提案します。		資料参照 課題制作
<b>第11週：マイ・スペースの設計1</b> 5×5mの立体フレームの構造体の中に、自分のお気に入りの空間を設計します。基本的にひとりで生活できる場所ですが、何を持ちこんでもかまいません。課題説明をした後、3つのグループに分かれ、それぞれの指導教員の指示によりながら、基本コンセプトを考えます。		資料参照 課題制作
<b>第12週：マイ・スペースの設計2</b> 基本コンセプトに沿って、エスキースを作成します。エスキースの作成過程は試行錯誤の連続です。何度も何度も本当のお気に入りの場所となるよう、エスキースを重ねてください。		資料参照 課題制作
<b>第13週：マイ・スペースの設計3</b> ある程度エスキースが固まったら、三面図やスタディ模型の作成に入ります。しかし、この段階で、いろいろの問題がみえてきたり、あるいは、もっと面白い空間となる可能性がみえてくるものです。必要に応じて、エスキースの練り直しを行います。		資料参照 課題制作
<b>第14週：マイ・スペースの設計4</b> 提出のための模型と図面を仕上げます。ここでは、各自の設計内容とコンセプトを適切に表現するためのプレゼンテーションが求められ、さまざまな模型制作方法や図面表現方法、図面への写真の取り込み、透視図やスケッチの利用の仕方などが指導されます。		資料参照 課題制作
<b>第15週：マイ・スペースの設計の講評会</b> 図面、模型の提出を行います。また、全デザイン系教員の出席のもと、各自の模型と図面が展示され、講評会が行われます。講評会は、作品制作者自身からコンセプト等の発表が行われ、学生からは質疑応答が行われます。他の学生の意見や担当教員以外の教員からのアドバイスを受ける絶好の機会です。		発表 質疑応答
<b>第16週：</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	
<b>【知識・理解】</b>	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	①図面の表現技法を習得する ②パース・エスキースの技法を習得する。

<b>【思考・判断・創造】</b>	プランニングの方法を学習する。
-------------------	-----------------

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		70点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		30点		

**(「人間力」について)**  
 ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	